

第11表

インバランス収支計算書

2020年4月1日から  
2021年3月31日まで

(単位 百万円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	57,421	営業収益	74,412
地帯間購入電源費	16,802	地帯間販売電源料	6,049
他社購入電源費	38,311	他社販売電源料	7,624
(インバランス対応取引費用)	(6,703)	(インバランス対応取引収益)	(7,624)
(インバランスの買取りに係る費用)	(31,607)	託送収益	57,335
社内取引費用	2,307	接続供給託送収益	57,335
(インバランス対応相当額取引費用)	(599)	(インバランスの供給に係る収益)	(57,335)
(インバランスの買取相当額取引費用)	(1,708)	(インバランスリスク料に係る収益)	(455)
		社内取引収益	3,402
		(インバランス対応相当額取引収益)	(368)
		(インバランスの供給相当額取引収益)	(3,034)
		(インバランスリスク料相当額取引収益)	(26)
営業利益	16,990		

- (注) 1. 財務諸表作成時点で未確定のインバランス料金に係る精算額は見積値により計上している。  
 なお、2020年度における確定額は、営業費用55,358百万円（地帯間購入電源費16,802百万円、他社購入電源費37,859百万円、社内取引費用696百万円）及び営業収益72,289百万円（地帯間販売電源料6,049百万円、他社販売電源料7,075百万円、託送収益57,446百万円、社内取引収益1,718百万円）である。
2. 本表に計上したインバランス料金に対応する電力量（単位 百万kWh）
- |          |       |
|----------|-------|
| 余剰インバランス | 3,581 |
| 不足インバランス | 3,485 |
3. 年度確定値の電力量（単位 百万kWh）
- |          |       |
|----------|-------|
| 余剰インバランス | 3,403 |
| 不足インバランス | 3,195 |
4. インバランスの供給に係る電力量及びインバランスの買取りに係る電力量については、集約期間における三十分を単位とした同一の時間帯において、バランシンググループ毎の電力量を積み上げる方法で算出している。
5. インバランスに係る債権の貸倒損及び貸倒損引当から貸倒損引当戻入を控除した額は10,793百万円である。
6. 2019年1月～4月に発生したエリアインバランス量の誤算定に伴うインバランス単価変動の影響額を反映したことにより、インバランス収支の営業利益が3百万円減少している。  
 なお、2019年度における影響額は、営業費用6百万円（インバランスの買取相当額取引費用6百万円）及び営業収益2百万円（インバランスの供給相当額取引収益2百万円）である。